

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年2月17日
札幌市立石山中学校

1 本年度の重点目標 『豊かな人間性を培う』 学ぶ力の育成 豊かな心の育成 健やかな身体の育成 信頼される学校の創造

2 本年度の教育推進の重点

- 1. 基礎学力向上に向けて
- 2. 豊かな心の育成(道徳を中心に豊かな心を育むために)
- 3. 健やかな体の育成
- 4. 子どもの発達の支援
- 5. 信頼される学校の創造(開かれた学校をめざして)

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	基礎学力向上にむけて	A	基礎・基本の確実な定着に向けた授業の工夫・改善と学習習慣の確立をめざす。「わかる」「できる」「楽しい」授業の構築と研修の充実をはかる。課題探究的な学習を展開する前提として、個々の「覚える」という力を向上させていきたい。	A	A
	豊かな心の育成	A	道徳授業時数の確保・授業記録と評価方法・教科書の活用など研修継続と理解に基づき、工夫された授業づくりを行う。日常指導の中でも組織的に道徳性の育成に努める。1年生については外部講師による道徳教室を実施する。	A	A
	健やかな体の育成	A	保健体育の授業のみならず、体育的行事の実施や部活動、食指導を通して、心身の健康を保持増進しようとする生徒の育成をはかる。自他の衛生環境に注意する姿勢を育てる。「シャボテン」の活用による心身の健康状態把握に努める。	A	A
	子どもの発達の支援	A	校内学びの支援委員会を中心に、組織的支援活動を継続するとともに、日ごろからの情報共有に基づく、迅速な組織的対応に心がける。個別指導の必要性や支援の具体策などについて、日常的な交流に努める。	A	A
	信頼される学校の創造	A	学校・学年だより、HPや「すぐる」による積極的な情報発信の質的向上を図る。また、感染症対策からの教訓から、今後も情報発信手段や学習サポートなどの工夫・改善をはかる。	A	A

学校関係者評価委員による意見

- ・今の世の中、**答えが1つの場合の解決力とそうでない場合の解決力が求められる**と思います。また、AIやGPTが優れてくると、複数の答えから**総合的に判断する能力も求められます**。本来学習と両論で「選択・分析・判断・表現」などの分野も課題にしてあげてください。
- ・心の健康観アプリ「**シャボテンログ**」。表面化しにくい生徒たちの心身状態を知るうえで、極めて効果的なことで感心しました。先生方も、それを十分に理解し、活用されていることはとても素晴らしい。今後は「シャボテン」によって得た情報に、どの様に対処し、どの様な結果となったか等、**成果報告も共通理解していきたい**ものです。
- ・**重点目標に向け、学校が様々なことによりしっかり取り組んでいる**と思います。学校ホームページなど、**上手に情報発信**できていると思います。

学習指導	基礎基本の定着を図るための指導方法の工夫	A	生徒が意欲をもって取り組める授業になるよう、教科研修と指導方法の工夫をはかる。また、各学年の日常的な取組により、基礎基本の定着と望ましい学習習慣の確立をはかる。必要に応じて、個別指導や個別サポートを行う。	A	A
	学習習慣の確立に努める	B	生徒が学習に意欲的に取り組めるよう、日常の課題や長期休業期間の課題の工夫に努め、学習習慣の確立を図る。自分で学習の見通しをもち、主体的に学べる授業の構築を図る。日常的な反復練習ができるような取り組みを行う。	A	A
	補充学習などを通じた、学習支援体制の確立	B	これまで行ってきた学習支援の在り方や効果を検証し、より効果的かつ継続的な支援体制の工夫を図る。また、教科の枠組みを超えた教育の充実にも力を入れる。日常的な反復練習ができるような取り組みを行う。	A	A
	TT授業、少人数指導のさらなる充実による基礎学力の定着	A	個に応じた指導方法の改善を図り、学力向上と基礎基本の定着を目指す。また、学びのサポーターなどの人材も活用や個別指導などにより、きめ細やかな指導を継続したい。評価アンケートでも肯定的回答が多いので工夫・継続する。	A	A

学校関係者評価委員による意見

- ・少数の**低評価意見こそ大事**にしていきたいです。
- ・先日、中学校教師、職員の**長時間労働や精神的負荷の増大**が指摘されていた。学習指導に関して、個別対応負担を軽減するために、**AIを積極的に導入**してみるのもよいのではと思います。

生活指導	道徳の時間の充実	A	「特別の教科 道徳」の授業充実を図るため、「教科書」の効果的活用を図る。さらに、発達段階に応じて計画的に「考え、議論する道徳」の授業を行い、評価研修を継続する。	A	A
	朝の読書の通年実施	A	「朝の読書」の実施は、落ち着いた雰囲気の中で、豊かな心を育成し、スムーズな授業の導入に効果が大きかった。短時間ながらはじめをもって実施し、継続的に行っていく。また、図書室の利用喚起にも力を入れていきたい。	A	A
	学校外部の方を講師としてお招きしての授業や講演会の実施	A	総合的な学習の計画的な運用の中で、学校とは違った価値観や視点で教えていただく機会を設け、生徒の豊かな心の育成と生き方を学ぶ機会を設けていきたい。今年度も1年生の人権教室、2年総合学習での出前講座、道警の方による安全教室講演会、消防の防災訓練を実施した。	A	A
	命を大切にす指導の充実およびいじめ防止について	A	日常の学校生活の中で、命を大切にす指導に心がけ、他に対する言動などへの意識向上を図る。いじめに関するアンケートの実施や教育相談の充実を図り、全職員による生徒観察と情報共有に努める。「シャボテン」の活用による相談活動の実施や未然防止の動きなど、定期的、組織的な連絡・指導体制の維持と改善に努めていく。	A	A

学校関係者評価委員による意見

- ・概ね達成できているのであれば、**生きる力の育成**として、ハードルの高い「**社会に出る前に適度なストレスや理不尽を経験**してもらうためにはどうすればよいか」に取り組んでいただけると素晴らしいです。
- ・若年層が**ネットゲームから海外へ連れ出されて詐欺集団に加担**させられていた、という事件などを見るにつけても、**将来のある生徒たちへの安全教室の重要性**をあらためて認識せざるを得ません。**犯罪に巻き込まれないための知識教育、体験学習の充実**を願うものです。

その他	家庭との連携について	A	「すぐる」などによる日常の連絡やPTA懇談会などの機会に、学校や生徒の情報を発信することにより、家庭との連携を強化する。また、学校公開、個人懇談での交流や日頃の教育活動を通して信頼関係を高めることにより、相談しやすい環境をつくり、家庭との一層の連携を図る。	A	A
	学校 学年だより、PTA集会などが果たしている役割について	A	今後の状況などを判断しながら、本来の学校の様子や行事活動を見ていただけるよう、可能な限り学校公開日を設定する。また、PTA懇談会では丁寧な説明に努め、ご理解を得られるようにする。今後も学校からの発信ツールの利用と改善・機能拡大により学校での教育活動を積極的にアピールし、連携強化につながるしくみにしていきたい。	A	A
	生徒の積極的な行事参加について	A	反省に基づく学校行事の見直しや改善を図りながら、行事の改善や精選を行い、生徒の人的成長につながるよう実施する。今後も生徒が意欲をもって参加し、生徒個人や集団の向上が図られるよう指導していく。	A	A
	学校における体力向上の取組について	A	運動機会の確保や健康相談活動などを健康・体力の増進につなげられるよう努め、自他の衛生環境への意識向上に努める。食指導に関しては、栄養教諭による食に関する指導の充実をはかり、昼の放送での紹介や、毎日学級配付される給食ニュース、テレビ放送など、食に意識の向く環境が整えられているが、今後も継続・改善していく。	A	A

学校関係者評価委員による意見

- ・私の(PTA)会長時期に何も取り組めなかった部分です。今らしい関わり方について、議論と実践を続けていきたいです。
- ・石山地区の**特性**として、四方を山に囲まれた**自然豊かな土地柄**があります。地場産業の軟石を利用したり、豊平川の**地理・歴史**を活用し、郷土愛を涵養する取組に期待いたします。
- ・感染症などに対する対策のため、行事などが予定通り行うことができなかった時期もありましたが、**学校評価アンケートの回収**などが昨年度よりも上がっていることから、**保護者が学校での教育活動に意識をもち、学校と連携している**と感じました。**ワークライフバランスや教育の心のケア**もこれからの時代は重要だと思ます。